

令和8年度全九州高等学校体育大会
第69回全九州高等学校登山競技大会
予報第2号



～千々石の街、橘湾、雲仙山系が見える丘より～

(令和8年5月30日撮影:小畑)

主 催
九州高等学校体育連盟
長崎県教育委員会
後 援
(公財)長崎県スポーツ協会
雲仙市教育委員会
九州地区山岳協会
主 管
長崎県高等学校体育連盟登山競技専門部
長崎県山岳・スポーツライミング連盟

諸連絡(予報2号)

1. 予報1号の訂正・補足説明について

① 1ページ

(誤)フロイス(ポルトガルのイエズス会宣教師。著所『日本史』)

(正)フロイス(ポルトガルのイエズス会宣教師。**著書**『日本史』)

② 3ページ

(誤)吾妻岳ピストンは…

(正)吾妻**観音**ピストンは…

③ 7ページ

(誤)なお、九州自然歩道分岐から万里の長城分岐の区間は鉢巻山には行かず、

(正)なお、九州自然歩道**出合**から万里の長城分岐の区間は鉢巻山には行かず、

④ 7ページ

(誤)弘法原から千々石中学校までの間は基本下山である。

(正)弘法原から**日向平線出合**を経由して千々石中学校までの間は基本下山である。

⑤ 8ページ

(誤)牛の首と呼ばれるコルを通過し、国道出合真(図⑳)となる。

(正)牛の首と呼ばれるコルを通過し、国道出合(図㉑)となる。

⑥ 13ページ

連絡先について、実施要項上では千々石中学校の記載がないが、大会本部として追加する。

青雲荘の住所で実施要項上では「500番地1」、予報1号上では「500-1」となっているが、どちらも同じである。

2. 行動について

(1) 予報1号の通り、区間によってメインザック行動とサブザック行動が混在する。ただし、天候等によっては行動変更を急遽行うことがあるため、競技役員の指示に従って行動すること。

(2) 7月4日は以下の区間①～③でチーム行動を行い、他は隊行動である。審査からの連絡も含めて確認すること。

① 「万里の長城」～「田代原キャンプ場」

② 「田代原キャンプ場」～「吾妻観音」の往復

③ 「田代原キャンプ場」～「弘法原」

(3) 7月5日は以下の区間でチーム行動、パーティー行動を行う。審査からの連絡や監督・リーダー会議も含めて確認すること。

① 「田代原キャンプ場」～「仁田峠」はチーム行動

② 「仁田峠」～「宝原園地」はパーティー行動

*「宝原園地」～「青雲荘」までは、パーティーで集まった上で隊行動の予定。

3. 監督の動きについて

監督は以下の予定を計画している。例年、当日の天候および選手の動きによって、待機や行動変更を監督に随時お願いしている。監督対応の役員の指示に従い、臨機応変に対応していただきたい。ご理解とご協力をお願いします。

(1) 7月3日(金)

開会式後、審査が開始する。審査中は選手との接見を避けるため、千々石中学校内の教室にて待機の予定である。監督のテント設営は橘公園の相撲場付近とし、設営時間は、選手の設営後に依頼予定。

(2) 7月4日(土)

監督のテントは一旦撤収とする。そのため、選手出発約 30 分後に出発予定とする。監督対応の役員の指示に従って、監督の荷物移動や登山行動を行うこと。時間等の兼ね合いで鉢巻山・吾妻岳をカットする。

選手の入浴する温泉が一般の方も多く利用するため、監督の入浴場所は現在調整中である。

(3) 7月5日(日)

監督は田代原キャンプ場まで選手とともにバスで移動する。選手全員が出発後、A隊が乗ったバスに全員集合し、仁田峠まで向かう。仁田峠に到着後、監督対応の役員の指示に従い、選手団の到着まで待機とする。選手のメインザックからサブザックへ変更した後、宝原園地へ向かってパーティー行動を行う。

車で来県された学校は青雲荘に到着後、千々石中学校へバスで移動する。(片道30分程度)。宝原園地で連絡予定。

(4) その他

食事などは各自で事前に準備すること。なお、国道57号線沿いにセブンイレブンや地元のスーパーがある。

4. 荒天対策について(補足)

予報1号に掲載の通り、風雨や気温等の天候の変化に応じて、様々な対応を行う場合がある。悪天候の際は、選手・監督は千々石中学校体育館および武道場に、役員は千々石公民館へ避難する。選手・監督・役員全員が安全に登山できる体制の整備に努めていく。

5. 個人装備について

(1) 7月3日(金)の中学校体育館の入館、および中学校教室の入室の際、登山靴をビニール袋に入れて行動することになる。登山靴が入る買い物袋の大きさのビニール袋を1人最低1枚用意すること。なお、教室への入室時は、靴下のままの入室となる。

(2) 7月5日(日)の仁田峠以降をメインザックからサブザックへ切り替え、メインザックは青雲荘へ輸送する。その際、約80個のザックをトランクに入れることが不可能なため、座席にも一部置く可能性がある。座席の汚れ防止のため、70~90L(ザック1個が覆いかぶさる程度)の大きさのビニール袋を1人最低1枚用意すること。

6. 入浴について

選手は7月4日に小浜温泉「望洋荘」に隊ごとで移動して入浴する。シャンプー、リンス、ボディソープはある。時間帯は以下の通りである。(※監督は調整中のため、別途連絡する。)登山行動後すぐに移動する隊もあるため、入浴に必要な道具等は可能な限り取り出しやすい状況にパッキングすること。監督・リーダー会議で再度連絡予定。また、待機中は千々石中学校体育館、あるいは千々石公民館内で休養予定。

*7月3日の開会式~5日の青雲荘到着までの間、自販機の使用は禁止である。購入はしないこと。(「支援」と見なされ、審査に影響する。)

14:30 A 隊 バス乗車 → 15:00~16:00(隊の半分を概ね 20 分交代。) → 16:10 出発

15:10 C 隊 バス乗車 → 15:30~16:30(隊の半分を概ね 20 分交代。) → 16:40 出発

15:40 B 隊 バス乗車 → 16:00~17:00(隊の半分を概ね 20 分交代。) → 17:10 出発

7. 閉会式について

閉会式は青雲荘にて行う。実施要項上では10時だが、諸般の事情で9時半から行う。閉会式後、次年度引継、写真撮影等を行う予定である。(例年1時間程度で終了)

8. 大会運営・審査に関する質問について

別紙に記入し、6月30日(火)12:00必着で、次のアドレスに監督がメールで送ること。期限を過ぎたものは受け付けない。

長崎県高等学校体育連盟登山競技専門部 専門委員長 小畑喬晴

メールアドレス: tozan@news.ed.jp

9. 帽子の番号について

九州高体連 HP に記載された「帽子番号の作成について」を確認すること。

10. 大会地図について

大会地図は、6月17日付の九州高体連 HP に掲載されたものである。設定に注意し、A3版の片面印刷で2種類を印刷し、選手4人がそれぞれ個人装備として持参すること。(モノクロ可)

なお、各地図にある「1日目」、「2日目」の記載は「行動1日目」、「行動2日目」のことである。

11. 領収書発行について

参加料および諸経費の領収書は、開催県専門部で作成し、閉会式の前までに各チームに渡す予定である。

宿泊費は、旅行業者JTBIに作成を依頼している。閉会式の前までに選手4人分と監督分の2枚に分けて作成予定。

(選手4人は学校名、監督分は監督名)領収書の作成方法に対して他に依頼がある場合は、8.「大会運営・審査に関する質問」に記載して連絡すること。

12. 水について

(1) 幕営地について

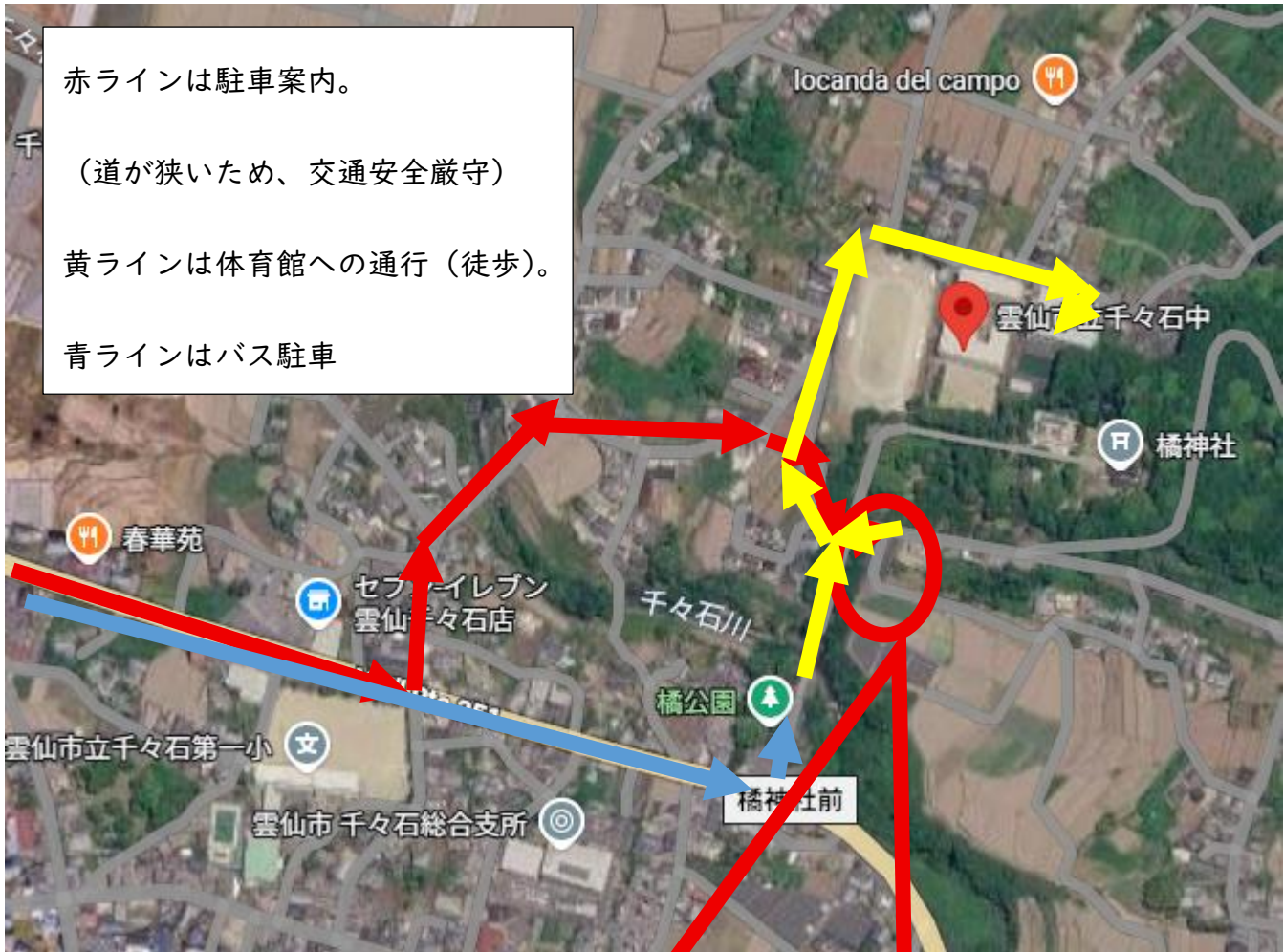
千々石中学校内、および橘公園横にある炊事場は市の水道で飲用可能。ただし、その他の水(川や滝など)の水は衛生上飲用をしてはいけない。

(2) 田代原キャンプ場について

生水は飲まないこと。

13. 駐車スペースについて

車・バスで来県する学校は、次のページに記載の地図を参考に通行していただき、駐車係の役員の指示に従って駐車してください。なお、中学校体育館への入館は12時以降です。それまでは車等での待機をお願いします。



14. その他

大会前までに大会に関する連絡が生じた場合、九州高体連HP、あるいは各県専門委員長を通じて監督へ連絡する。